

SUPER-FJ Race report



菅生スーパーFJ選手権 第1戦・第2戦

2020年 10月10～11日 天候:雨 参加5台



Text/Photo:はた☆なおゆき

当初は4月26日、5月17日に開催されるはずであったスーパーFJ菅生選手権の第1戦、第2戦がコロナ禍で中止となり、その代替レースがスーパー耐久と併せて、10月10～11日に開催された。

エントリー台数は、わずか5台。その理由として挙げられるのは2週連続での開催であること、そして何より同日に鈴鹿、筑波/富士シリーズも行われたからと思われる。結果的に、鈴鹿と富士のレースは台風14号の接近により、早々に中止を決定された。それはともかくスケジュールの重なりがなければ、少なからず遠征してきたドライバーもいたことだろう。5人はいずれもアルビレックスレーシングチーム所属のドライバー。中村寿和監督も自ら参戦し、何としてでもシリーズを成立させようという思いには敬意を称したい。

《予選》

金曜日までの練習走行ではドライコンディションが保たれたものの、土曜日早朝に行われた予選はあいにくの雨模様。中にはおそろおそろ……といった走りのドライバーもいたが、その状況において、ひとり気を吐いたのが須合修也選手だった。秒単位でチームメイトを引き離していたドライバーは、8月に行われたスーパーFJ ジャパン・チャレンジ(全国戦)で遠征ドライバーにつぐ結果を残し、また、1週間前に行われたレースでもポール・トゥ・ウィンを飾っていた。

「木曜の練習走行は雨だったんですが、クラッシュしちゃって。それでウェットコンディションにはいい印象がなかったんですが、思った以上に切り替えることができていて、予選はしっかり走ることができました。先週、初優勝できて、けっこう自信はつきました。寂しいですけど、台数が。その分、決勝で僕が目立ちます」と須合選手。開始から6分後に1コーナーでコースアウトした車両があり、赤旗中断となっていたが、再開後は集中力を絶やさず、わずか2周のアタックの機会にベスト、セカンドベストともに最速タイムを記し、第1戦、第2戦ともにポールポジションを獲得することとなった。2番手は長谷部一真選手が獲得。2戦ともに順位は変わらず。



《決勝レース1》

決勝レースは2戦とも日曜日の午前に行われた。まずは第1戦。強い雨の降る中、好スタートを切った須合選手は、オープニングの1周だけで長谷部選手に3秒6もの差をつけ、その後はファステストラップを更新しながら周回を重ねていった。10周目の馬の背で、勢い余ってコースアウトするシーンもあったが、大量リードによってトップの座はそのまま。13秒の大差をつけて2連勝を飾った。

「しっかり最後まで離そうと思って走っていました。1回だけブレーキングをミスしました。いろいろ探っていたので。第2戦も残っているので、いろいろ課題を見つけていました。次もまだまだ行きます」と須合選手。

一方、大差をつけられたとはいえ、2位の長谷部選手は自己ベストを最終ラップに、しかも予選タイムを1秒6秒も上回り、「僕も自分なりにベストを尽くそうと思って走っていました」と語っていた。そんな長谷部選手の強い思いは、続く第2戦に形となって表れる。



《決勝レース2》

好スタートを切った長谷部選手は、須合選手を抜くまでには至らなかったものの、1周目を背後につけて走行。その後はまた引き離されるかと思いきや、案外差は広がらず。雨足が第1戦よりはるかに弱まっていたこともあって、レース半ばには予選を上回るタイムが記録されるようになるのだが、時に須合選手のタイムを長谷部選手の方が勝つようになり、最終的にはファステストラップまで記録する。

結果的に須合選手は逃げ切るが、その差はわずか3秒。長谷部選手の急激な成長を物語っていた。実はこれには理由があり、ウェットコンディションでは前走者のラインが目に見えて残り、しかもわずかながらも水は履けている。そこをしっかりとレースしていたためだ。「途中からコピーして走りました。ウェットレースではラインが見えるので、頑張っただけで走りました」と長谷部選手。それも1周目に大きく遅れることなく続いていけたからで、気づいたことが何より重要なのだ。

そして、須合選手は3連勝を飾り、チャンピオンを獲得。「(長谷部選手が)ファステストラップ出したことは(1コーナー手前に電光掲示板があるため)分かっていました。でも、焦って回ったりしたら無駄だと思ったので、シリーズチャンピオンと1位目指して走りました。チャンピオンは、やっぱり気持ちいいですね！

今は 19 才で、以前はカートだけです。スピードパーク新潟っていう、チームの地元
のシリーズで走っていました。日本一決定戦も出ます。今年学んだことを、いろいろ
試したいです」と須合選手。

2 戦ともに 3 位、4 位は池内比悠選手、そして大川烈也選手が獲得。第 1 戦はスピ
ンでリタイアを喫した中村監督も、第 2 戦はしっかり完走を果たしていた。





2020年10月 11日 (日)

2020 SUGOチャンピオンカップレースシリーズ Round1

第1戦

公式予選 (コースコンディション：ウェット)

Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	2ndTime	Ave.Km/h	Laps	Behind
1	36	SFJ	1 須合 修也	RD10V	ALBIREX-RTRD10V	1'47.614	119.979	4/ 5	
2	37	SFJ	2 長谷部 一真	RD10V	アルビ Makewinner	1'51.078	116.237	4/ 5	3.464
3	38	SFJ	3 池内 比悠	MYST-KKS	新潟国際自動車クラブ EDKKS	1'53.735	113.522	2/ 5	6.121
4	34	SFJ	4 大川 烈弥	KK-S	アルビ・ビヨンド KKSGIAED	1'57.634	109.759	1/ 2	10.020
5	35	SFJ	5 中村 寿和	KK-S	アルビ レックス・レーシング チーム	2'14.664	95.879	3/ 3	27.050
----- 以上予選通過 -----									

参加台数：5台 出走台数：5台

予選通過基準タイム (130%) 2'24.052

赤旗中断 8:51:40 ~ 9:03:00

決勝 (コースコンディション：ウェット)

Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap
1	36	SFJ	1 須合 修也	RD10V	ALBIREX-RTRD10V	12	21'34.091		119.726	1'46.630 11
2	37	SFJ	2 長谷部 一真	RD10V	アルビ Makewinner	12	21'37.075	2.984	119.451	1'46.415 8
3	38	SFJ	3 池内 比悠	MYST-KKS	新潟国際自動車クラブ EDKKS	12	22'23.054	48.963	115.362	1'50.121 8
4	34	SFJ	4 大川 烈弥	KK-S	アルビ・ビヨンド KKSGIAED	12	22'47.924	1'13.833	113.264	1'51.336 6
5	35	SFJ	5 中村 寿和	KK-S	アルビ レックス・レーシング チーム	10	21'52.766	2 Laps	98.353	2'07.654 9
----- 以上完走 -----										

参加台数：5台 出走台数：5台 完走台数：5台

ベストラップ： 37 長谷部 一真 1'46.415 8/12 121.331km/h

第2戦

公式予選 (コースコンディション：ウェット)

Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	2ndTime	Ave.Km/h	Laps	Behind	
1	36	SFJ	1	須合 修也	RD10V	ALBIREX-RTRD10V	1'47.614	119.979	4/ 5	
2	37	SFJ	2	長谷部 一真	RD10V	アルビ' Makewinner	1'51.078	116.237	4/ 5	3.464
3	38	SFJ	3	池内 比悠	MYST-KKS	新潟国際自動車コース EDKKS	1'53.735	113.522	2/ 5	6.121
4	34	SFJ	4	大川 烈弥	KK-S	アルビ' ビ' ヨンド' KKSGIAED	1'57.634	109.759	1/ 2	10.020
5	35	SFJ	5	中村 寿和	KK-S	アルビ' レックス・レーシング' チーム	2'14.664	95.879	3/ 3	27.050
----- 以上予選通過 -----										

参加台数：5台 出走台数：5台

予選通過基準タイム (130%) 2'24.052

赤旗中断 8:51:40 ~ 9:03:00

決勝 (コースコンディション：ウェット)

Pos	No.	Class	Driver	Type	Team	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap		
1	36	SFJ	1	須合 修也	RD10V	ALBIREX-RTRD10V	12	21'34.091		119.726	1'46.630	11
2	37	SFJ	2	長谷部 一真	RD10V	アルビ' Makewinner	12	21'37.075	2.984	119.451	1'46.415	8
3	38	SFJ	3	池内 比悠	MYST-KKS	新潟国際自動車コース EDKKS	12	22'23.054	48.963	115.362	1'50.121	8
4	34	SFJ	4	大川 烈弥	KK-S	アルビ' ビ' ヨンド' KKSGIAED	12	22'47.924	1'13.833	113.264	1'51.336	6
5	35	SFJ	5	中村 寿和	KK-S	アルビ' レックス・レーシング' チーム	10	21'52.766	2 Laps	98.353	2'07.654	9
----- 以上完走 -----												

参加台数：5台 出走台数：5台 完走台数：5台

ベストラップ： 37 長谷部 一真 1'46.415 8/12 121.331km/h

